

# 猿翁アーカイブにみる二代目市川猿之助の世界

場所 京都芸術劇場 春秋座（京都造形芸術大学内）

日時 2016年9月24日（土） 開場 13:30 開演 14:00 \*終演 17:00 予定

入場料 無料・往復はがきにてお申込み下さい \*申込多数の場合は抽選

2016年5月、三代目市川猿之助（二代目猿翁）さんから、京都造形芸術大学に歌舞伎関係の資料を寄贈いただいた。映像約2500本、書籍約7700冊、公演パンフレット約1400冊、その他膨大な台本、舞台写真などである。三代目猿之助の偉業だけでなく、昭和、平成の歌舞伎の歩みを知ることができる貴重なものばかりである。

三代目猿之助は本学の副学長であり、教壇に立ち、自らの歌舞伎哲学と経験に基づいて建てた劇場・春秋座の芸術監督であった。本学とは大変縁の深い歌舞伎役者である。

今回はお披露目として、寄贈映像を通して三代目猿之助の軌跡を振りかえる。ゲストには、当代市川猿之助、市川右近、市川笑三郎、三代目猿之助とともに多くの舞台を創ってきた脚本家の石川耕士ら三代目猿之助ゆかりのかたがたをお招きする。映像とトークによる三代目猿之助の世界。今まで知らなかった歌舞伎の扉が開かれるにちがいない。

田口章子（京都造形芸術大学教授）

《プログラム》 進行：市川笑三郎

- 1【三代目猿之助と春秋座】対談 市川右近×徳山豊（学校法人瓜生山学園 京都造形芸術大学 理事長）
- 2【三代目猿之助の仕事】石川耕士（脚本家）
- 3【三代目猿之助の功績～スーパー歌舞伎】 四代目市川猿之助



## 三代目市川猿之助（二代目市川猿翁）

1939年（昭和14）生まれ。つねに「時代とともに生きる歌舞伎」をめざし、伝統の継承と創造に全身全霊をかけて走り続けている。「猿翁十種」をはじめとする家の芸の継承はもとより、『義経千本桜』『加賀見山再岩藤』などの古典歌舞伎の再創造、『菊宴月白浪』『競伊勢物語』などの古劇の復活、さらには『ヤマトタケル』や『新・三国志』シリーズなどのスーパー歌舞伎の創造まで、パワフルな活動はみごとに芸術的完成を見せる。現代歌舞伎に多彩で豊穡な成果をもたらしてきた演劇活動の中から「三代猿之助四十八撰」を制定した。歌舞伎にかける熱い思いと革新的な発想は、三代目市川猿之助が育てた弟子たちにも確実に受け継がれている。平成24年6～7月新橋演舞場において、祖父が名乗った猿翁の名を二代目として襲名し、甥の市川亀治郎に猿之助の名を譲った。

京都造形芸術大学では、平成5年に芸術学部教授、平成12年～17年副学長に就任。集中講義では学生に歌舞伎の実技実演指導も行った。同大の春秋座には徳山詳直前理事長とともに劇場の構想・設計から関わる。初代芸術監督として、柿落し公演の『日本振袖始』はじめ、数々の舞台を企画し出演した。

【申込方法】 下記をご参照いただき必要事項を全てご記入の上、往復葉書にてお申し込みください。

往信表面 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター宛

往信裏面 ①代表者ご氏名②ご住所（郵便番号含む）③お電話番号（日中の連絡が可能なもの）④参加人数（2名まで）

返信表面 お客様のご住所をご記入ください

返信裏面 白紙

【申込〆切】 2016年8月22日（月）必着 \*申込多数の場合は抽選とさせていただきます

【結果通知】 8月末日までに当落結果をご返信いたします。当選された方へのお葉書には座席番号を明記いたします（※指定席/お座席の場所はお選びいただけません）。フォーラム当日は、入場時に返信ハガキをご提示いただきますので、必ずご持参ください。返信ハガキをお持ちでない場合、入場をお断りする事がございます。予めご了承くださいませ。

企画：田口章子（京都造形芸術大学教授）／映像担当：倉田修次／

協力：松竹株式会社、公益社団法人日本俳優協会、株式会社キノシ・オフィス

主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター 606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 TEL 075-791-9437